こんにちは！

東員町（とういんちょう）です。

Toin Town

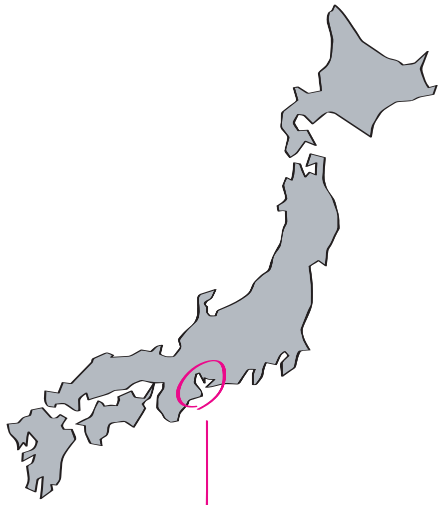
東員町役場総務部政策課
〒511-0295 三重県員弁郡東員町大字山田1600番地
電話■0594-86-2811 ファックス■0594-86-2858
Eメール■seisaku@town.toin.lg.jp ホームページ■www.town.toin.lg.jp

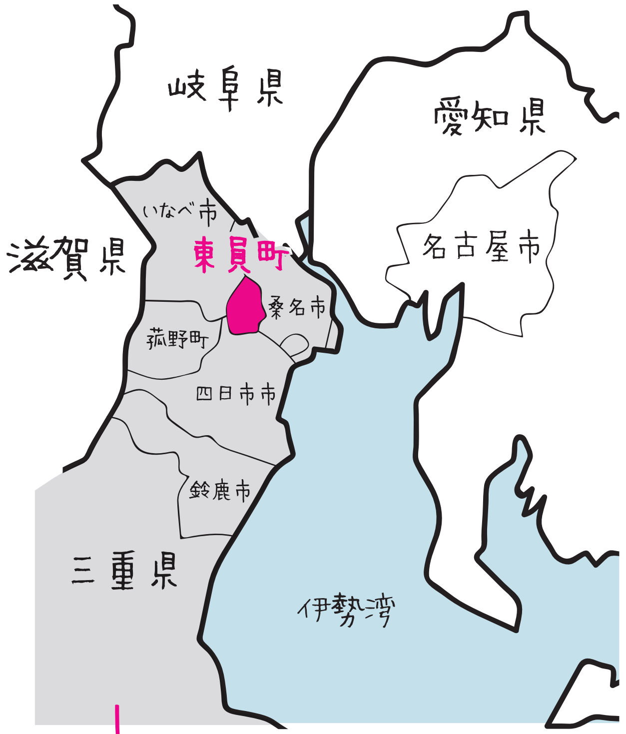
東員町（とういんちょう）

三重県員弁郡（いなべぐん）東員町データ

人口	25,622人（男性12,640人　女性12,982人）
世帯数	9,574世帯
面積	22.68 k㎡
隣接自治体	桑名市、いなべ市、四日市市
平均気温	15.8℃（年平均）
最高気温	32.3℃（8月平均）
最低気温	0.9℃（1月平均）
保育園、幼稚園	6園（すべて町立、幼保一体化施設）
小学校	6校（すべて町立）
中学校	2校（すべて町立）

出典　住民基本台帳　2018年1月31日現在
気象庁　気象データ1981−2010年　観測地桑名





東員町の4つの魅力

ちょこっと田舎、ちょこっと都会 コンパクトなまち

子育て、教育

ちょうど良い四季と恵まれた自然環境

町民が輝く文化活動

東員町役場

中部公園

東員町

東員駅

東員インター

ちょこっと田舎、ちょこっと都会　コンパクトなまち①

まもなく収穫をむかえる稲穂

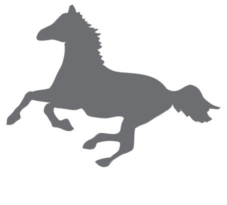
町の中央を流れる員弁川

猪名部神社のアオバズク

100年以上走り続ける
ローカル鉄道「北勢線」

今も変わらず受け継ぐ伝統行事

猪名部神社　春の大祭「大社祭」上げ馬神事



毎年4月の第1土曜日、日曜日に開催される伝統の行事です。祭りで盛り上がりを見せるのは800年以上の歴史があるといわれる「上げ馬神事」。県の無形民俗文化財にも指定され、乗り子と呼ばれる4地区の青年が、勇壮な武者姿で境内の坂に人馬一体となって挑みます。1192年（建久3年）郡司・員弁三郎行綱が青少年の士気を高めるために始めたといわれています。

六把野御厨神明社　春と秋の例大祭「六把野獅子舞」

毎年春と秋に奉納される獅子舞は、明治の初めが始まりといわれ、昭和9年以降、戦争などを理由に中断されましたが、昭和50年に六把野獅子舞保存会により復活しました。平成11年に町の無形民俗文化財に指定されています。獅子に頭をかまれると、その年は無病息災で元気に過ごせるといわれています。

東海環状自動車道　東員インター
インター前には大型ショッピングセンターが立地

北部の住宅団地（笹尾、城山地区）

ちょこっと田舎、ちょこっと都会

コンパクトなまち ②

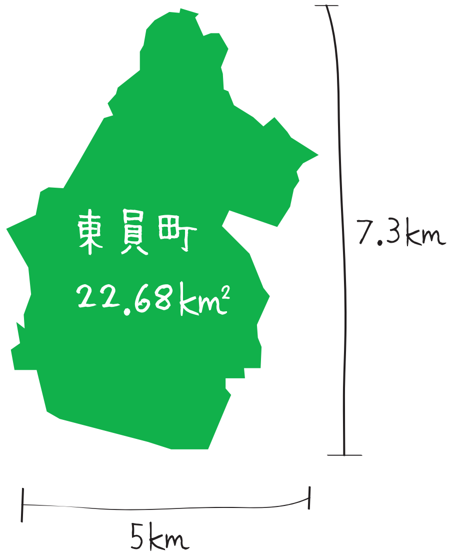
都市部へのアクセスが便利

名古屋市、四日市市など都市部へのアクセスが可能です。平成28年には東海環状自動車道の東員インターが完成し、さらに広域へのアクセスが便利になりました。

出発	交通手段	所要時間	到着
東員町	車	40分	名古屋駅前
東員駅	鉄道	50分	名古屋駅
東員町住宅団地	高速バス	50分	名古屋駅前 名古屋市栄
東員町	車	60分	中部国際空港（セントレア）

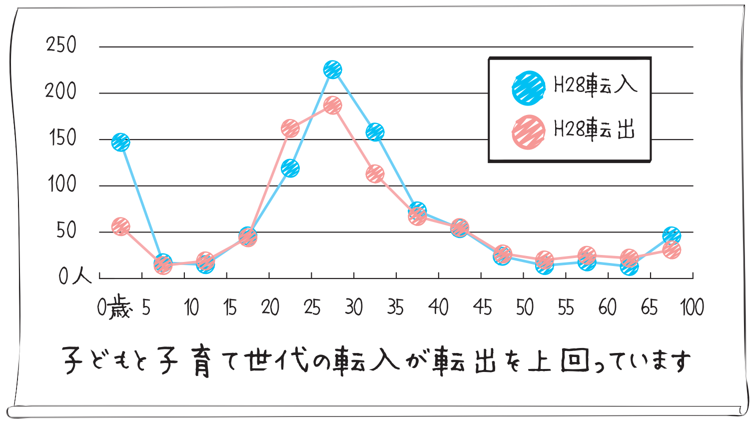
コンパクトなまち

東西5km、南北7.3km、総面積22.68km²のコンパクトな町。暮らしの様々な機能にすぐ手が届きます。



緑にふれる

緑あふれる東員町の環境は子育て世代に人気。
とくに町の中心にある中部公園は子育て世代のママに人気です。
14.5haの広大な敷地には芝生広場、大型遊具、パークゴルフ、バーベキュー施設などがあります。
定期的に交流イベントも行われています。



出典　住民基本台帳

土にふれる

東員町は農のある暮らしを大切にしています。
子どもたちにも食育や農業体験を通した地産地消を進める取り組みを行っています。
直接「土」にふれ、汗をかき収穫の喜びを味わう。
こうした大地の恵みを実感する中で子どもたちは多くのことを学びます。

主な東員町の子育て支援制度

とういんファミリーサポートセンター

子どもを預けたい人に応じて、有償ボランティアの方を紹介し、助け合う子育て支援システムです。

発達支援室を設置

みえ発達障がい支援システムアドバイザーなどを配置し子どもの健やかな育ちのために、保健・福祉・教育が連携して、早期から途切れのない支援を目指しています。

子育て支援センター

幼稚園、保育園に入園していない生後6カ月からのお子さんを対象に、親子で楽しく遊べて、気軽に語り合える憩いの場所です。町内に１箇所あります。

５歳児幼稚園保育料無料

子育て家庭の経済的負担の軽減などを目的に、幼稚園５歳児保育料の無料化と保育園５歳児保育料５０００円の免除を行っています。

中学校まで医療費無料

中学校修了までの医療費の自己負担分を助成しています。

学童保育所

町内の６つの小学校区すべてに学童保育所を整備しています。

すべての小学校区に町立の幼稚園、保育園

町内の６つの小学校区すべてに町立の幼稚園、保育園を「幼保一体化施設」として整備しています。
幼稚園は全国で3年保育を実施しています。
幼稚園、保育園の待機児童はゼロです。

子育て、教育②

命が宿ったマイナス1歳から中学校修了15歳までの継続した取り組み

東員町16年一貫教育プラン

東員町教育委員会では
すべての子どもたちが社会で
いきいきとした自分の人生を
歩めるように、
アメリカの精神分析家の
エリクソン（Erikson,E.H　1902 - 1994）
の発達理論を参考にしながら
東員町16年一貫教育プランを
策定し、保育や教育に取り組んでいます。

大切にしているのは「3感」

「3感」EDUCATION

基本的信頼感
「この世に受け入れられているんだ」
「信頼してもいいんだ」
という気持ち。

自己肯定感
「自分は大切な存在なんだ」
「自分はかけがえのない存在なんだ」
という気持ち。

自己有能感
「自分はこんなに得意なことがあるんだ」
「頑張れば、きっとうまくいく！」
という気持ち。

「3感」を意識して「生きる力」を育む

「確かな学力」「豊かな心」
「健やかな体」の3つの
生きる力を
保護者、地域、園、学校と
ともに育んでいます。

例えばこんなことをしています。

「東員学び検定」

すべての土台となる
国語力の基礎を
習得します。
学年ごとの東員町
独自のテキストに
基づき検定を行い
認定書を発行します。

「自分で作る弁当の日」

自分でメニューを考え、
買い物、調理、片づけ
などをすべて行い、
家の手伝いを通して
自立の心を育てます。

「東員なわとび検定」

共通の縄跳びカード
で10級から1級を
目指します。
家族や地域の方にも
回数を数えてもらい、
ふれあいと達成感
を学びます。

「読書登山」

乳幼児から
中学生までの間に
本を301冊読む
取り組みです。

ちょうど良い四季と恵まれた自然環境①

季節感あふれる自然の景色

町内各地で一斉に咲き誇る桜
水田の水面に映る青い空や夕日
そよぐ風に揺れる稲穂
赤やピンクに染まるコスモス畑
頂に白い雪が積もる山々

東員町では、ちょうど良い四季が
日々の暮らしを彩ります。

自然災害の少ない町

「土砂災害」

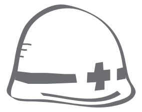
東員町は、過去30年
土石流、地すべりの土砂災害
発生件数はゼロです。

※三重県公表　三重県の土砂災害
既往土砂災害（昭和56年～平成26年）

「津波」

東員町は三重県の公表している
「津波浸水予測図」の対象市町に
含まれていません。

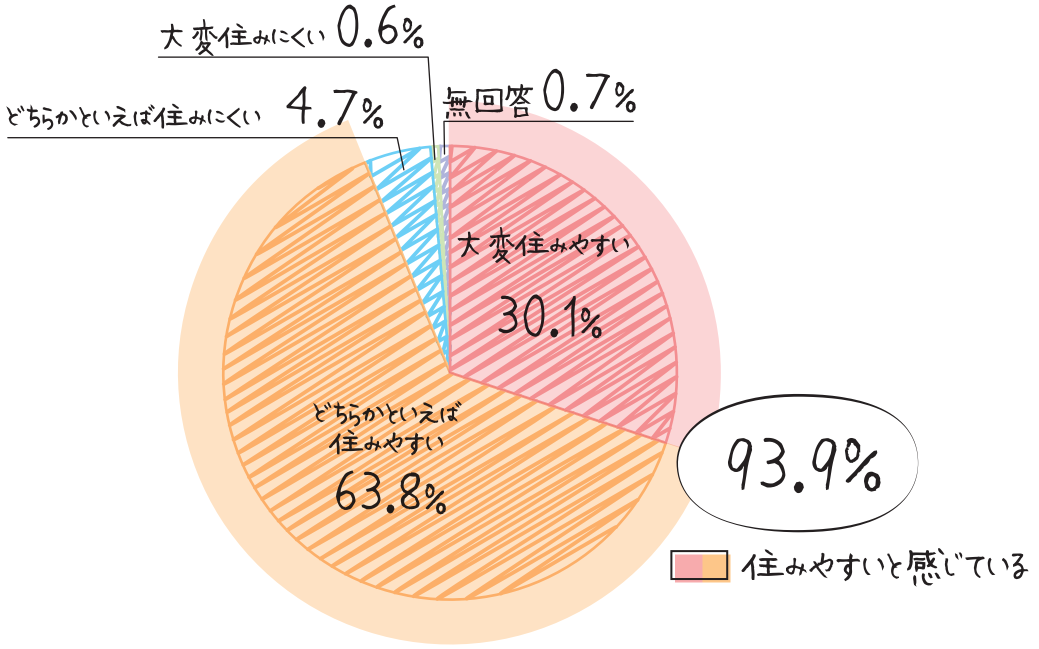
※「津波浸水予測図」とは、
南海トラフの理論上最大クラスの
地震を想定した場合に
どの範囲まで浸水するかを
色分けした浸水予測図です。



安全で、おいしい水

東員町の水は、鈴鹿・養老山系の地下水を水源としています。
この地下水は、大腸菌など細菌類の汚染がない良好な水です。
原水の水質が良好であるため、浄水処理は最低限の塩素消毒のみを行い、安全でおいしい水道水を各家庭に供給できます。
また厚生省（現在の厚生労働省）おいしい水研究会の「おいしい水の要件（1985年）」を満たしています。

東員町は住みよいところだと感じますか？



町内在住の24歳～50歳の男女1250人が回答（平成27年実施　地方創生アンケート）

町民が輝く文化活動①

こども歌舞伎

「こども歌舞伎公演」

東員町は、歌舞伎の名優「七世 松本幸四郎」丈生誕の地。東員町が生んだ名優を後世に伝えようと平成7年(1995年)に「こども歌舞伎」を結成し毎年上演しています。

七世 松本幸四郎

明治3年、員弁郡大長村字長深(現在の東員町大字長深)に生まれる。
11歳で市川團十郎に弟子入りし、7代目松本幸四郎を襲名。「勧進帳」の弁慶は、不朽の演技として語り継がれています。
子には11代目 市川團十郎、8代目 松本幸四郎、2代目 尾上松緑、現在の松本幸四郎は孫、7代目 市川染五郎、松たか子は曾孫にあたります。

歌舞伎公園

七世松本幸四郎丈を後世に伝えようと町制施行30周年を記念して作られた公園。公園内には、当たり役「弁慶」のわらべ像や歌舞伎の「アートウォール」などがあります。

町民が輝く文化活動②

文化度の高いまち

日本語でベートーヴェンの第九を歌う

東員「日本の第九」演奏会

東員町の第九はドイツ語ではなく、作家として知られる、なかにし礼氏が作詞をした日本語で歌う第九で、平成元年に最初の演奏が行われました。

毎年町民から参加を募り、12月23日に開催しています。

演奏会には日本語で第九を歌うことで交流を続けている福井県小浜市と神奈川県鎌倉市の合唱団員も駆けつけてくれます。

東員町が誇る洋画家

石垣定哉さん

石垣さんは東員町出身の洋画家です。1970年代から油彩画を本格的に発表し、ヨーロッパ、ニューヨークでの創作活動を経て、80年代には洋画界から注目を集めるようになりました。

2016年には三重県立美術館で大規模な展覧会を開き、展覧会で交流のあった町内の小・中学校に、版画（リトグラフ）を寄贈するなど、郷土の画家として日々活躍しておられます。

東員町発ミュージカル

東員町のミュージカルは平成25年の員弁1300年記念事業として始まり、演劇集団ローカルスーパースターズと地域住民が一体となって演じる文化事業です。

東員町の伝統行事やローカル鉄道などを題材に、東員町らしいテーマで、笑いあり、涙ありのステージが毎年繰り広げられています。

第1弾「天高く馬跳ぶ春」

第2弾「ナローはつづくよどこまでも」

第3弾「OH! MY GOD.」

第4弾「ザッツ!! 東員Musical.」

東員町が目指していきたいのは「健康活躍のまち」

「おみごと！」があふれる町へ

東員町は、平成29年度で誕生50年を迎えました。
子育てのしやすい町として、子育て世代の定住が進み、
昭和後期にできた住宅団地では、多くの団塊シニアが
セカンドライフを迎えています。

日本一を掲げるような目立った売りのある町では
ありませんが、ほど良い自然に囲まれた環境と、
ほど良い都市的な便利さに「まち」としての魅力を感じ
住んでいる方が多いと思います。

「日常に幸せを感じる瞬間がある」
何よりも大切なことは、こういうことではないでしょうか。

そのためには、心身共に健やかであること。
そして、活動的であること。
誰かの活動は誰かの幸せに繋がり、
その幸せが活動の源となって、また次の幸せに繋がる…
こうしたみんなの活躍が健康に繋がり、
健康であれば活動の意欲が湧いてきます。

「健康活躍のまち」
町に住むひとりひとりの活躍が
50年目からの東員町をつくります。
小さなことから大きなことまで、
みなさんの活躍にひと言…
「おみごと！」
そんな「おみごと！」があふれる東員町へ。

OMIGOTOIN
健康活躍のまち 東員町

OMIGOTOIN（オミゴトウイン）は「おみごと！」と「東員」をかけ合わせたキャッチフレーズです。
3重マルは、①健康と②活躍の先に③まちの発展があることを表現しています。

「おみごと！」があふれる町へ

みなさんの活躍を応援する様々なメニューがあります。

とういん市民活動支援センター

ボランティアグループ、NPOなど現在活動している方やこれから活動を考えている方の拠点として相談、研修、講習会、情報誌の発行など、さまざまな中間支援を行っています。

また活動団体と町民の交流の場としてイベントも行っています。

「とういんわくわくフェスタ」は、活動団体と町民がイベントを通して交流する場です。

地域ボランティア制度

自分も地域も元気に！

誰もが住み慣れた地域で安心して暮らしていくため互いに支え合い、助け合う制度です。

町が指定した活動先でボランティア活動を行うと実績に応じてポイントがたまりたまったポイントは交付金として受け取ることができます。

一般社団法人 東員町文化協会

文化を通して、幅広い分野で活動が行える場です。

美術、芸能、音楽、趣味など様々なジャンルに分かれる加盟団体へ参加することができます。

新たな団体として登録することや、個人の活動として登録することもできます。

日頃の活動を披露する場として毎年、東員町文化祭や春の文協まつりが開かれています。

また、入門編から上級編までの講座も用意し、学ぶ側、学んでもらう側と双方の活動ができます。

東員町文化祭や春の文協まつりでは東員町総合文化センター内にみなさんの作品が並びます。活動を通して多くの町民の交流が生まれています。

健康活躍のまち　東員町

「おみごと！」があふれる町へ

第6次東員町総合計画→

東員町　暮らしインフォメーション

交通

町内には鉄道、路線バス、コミュニティバス、タクシーが走り、ニーズに合った利用が可能です。

『電車』

●三岐鉄道北勢線

町の中心を東西に走る電車です。隣接する桑名市、いなべ市へのアクセスが可能です。ＪＲ関西線、近鉄名古屋線の通る桑名駅まで徒歩も含め約30分です。

●三岐鉄道三岐線

町の南部を走る電車です。隣接する四日市市、いなべ市へのアクセスが可能です。四日市市の近鉄富田駅まで約20分です。

『バス』

●路線バス

三重交通㈱が5路線、八風バス㈱が2路線、三岐鉄道㈱が1路線走っています。主な路線としては北部の住宅団地から出ている「名古屋桑名高速線」が名古屋駅前まで約50分です。また「桑名ネオポリス線」が桑名駅まで約30分です。

●コミュニティバス（オレンジバス）

東員町が運営する町内を走るコミュニティバスは、駅、スーパー、病院、役場などを回ります。朝夕は通勤や通学、昼間は買い物や通院に利用できます。

『タクシー』

三重近鉄タクシー㈱と㈱三交タクシーが地域のタクシー事業所としてお気軽に利用できます。

買い物

町内には、大型ショッピングセンター（1店）、スーパー（3店）、コンビニ（6店）、ドラッグストア（1店）、ホームセンター（1店）などがあり、日常の暮らしを支えています。

病院

町内には内科、小児科、整形外科、皮膚科、耳鼻咽喉科など約17の医院、約10の歯科診療所があります。隣接市には総合病院もいくつかあり、もしもの時も安心です。

子育て・教育

小学校が6校、中学校が2校あり、小学校へは徒歩で、中学校へは徒歩か自転車で通学します。幼稚園、保育園（幼保一体化施設）と学童保育所は、すべての小学校区にあります。幼稚園、保育園の待機児童は0人を継続中。お子さんが産まれても安心して働くことができる環境が整っています。

地域

6つの小学校区のうち、北部の笹尾西、笹尾東、城山校区は、町の人口の約半分を占める人が暮らす住宅団地です。中部から南部にかけての神田、稲部、三和校区は、昔ながらの集落が広がっています。最近では小規模な住宅開発が盛んに行われており、子育て世代が多く転入しています。町内には23の自治会があります。

上下水道・ガス

上水道は、地下水を4本の浅井戸から取水し、基本的な滅菌処理しか行っていないとてもおいしい水です。下水道は普及率が99％を超え、快適な生活環境が整っています。北部の住宅団地では都市ガスが整備され、在来地区はＬＰガスが主流です。

仕事探し

町内の事業所数は大小含め約千箇所。近隣には多くの企業が集まる名古屋市、桑名市、四日市市、いなべ市があり、町外に通勤している人も多くみられます。

ハローワーク桑名（桑名市内）で求人検索、職業訓練の相談が可能です。また東員町シルバー人材センターが定年退職後の就業などのお手伝いしています。

暮らしに近い公共施設

『スポーツ施設』

総合体育館、武道館、陸上競技場、町民プール、テニスコート（2箇所）、野球場（2箇所）、多目的グラウンド（3箇所）があります。

『文化施設』

総合文化センターは、ひばりホール、図書館などが設置され、文化芸術活動を支援する総合施設です。

『笹尾連絡所』

役場の出張窓口として北部の住宅団地内に設置しています。

『公園』

町内には、大きな中部公園の他にも自然景観が楽しめる大きな公園が4箇所あります。また各地域に小さな公園も点在し、憩いの場となっています。

その他施設

『金融機関』

地方銀行、信用金庫、ＪＡの支店が6箇所あります。

『郵便局』

簡易郵便局を含め7箇所あります。

『警察・消防』

東員交番と東員消防署が町の中心にあり安心です。

消防団（4分団）もあり、地域の安全を守っています。

このパンフレットは
平成30年12月に発行しました。

Toin Town

【お問い合わせ】

東員町役場総務部政策課政策係
電話　0594-86-2811
ファックス　0594-86-2858
Eメール　seisaku@town.toin.lg.jp